

平成 28 年度事業計画書

平成 28 年 9 月 1 日から

平成 29 年 8 月 31 日まで

1. 第 65 回学術総会の開催

会 期：2016 年 10 月 27 日（木）・28 日（金）

会 場：志摩市阿児アリーナ、志摩観光ホテル ザ クラシック、
伊勢志摩ロイヤルホテル

学会長：松阪中央総合病院名誉院長 玉置久雄

テーマ：未来につなげよう地域医療 ～やるやんか 三重～

(1) 学会長講演

「松阪中央総合病院を取り巻く地域医療の変遷とその未来」

松阪中央総合病院名誉院長 玉置久雄

(2) 特別講演

① 「地域医療と三重大学」

三重大学医学部附属病院長 伊藤正明

② 「がん治療の最前線：がん統計から最新治療まで」

三重大学大学院医学系研究科肝胆膵・移植外科教授 伊佐地秀司

(3) 教育講演

「本居宣長の医業と学問」

本居宣長記念館長 吉田悦之

(4) 文化講演

「吉田沙保里選手×栄 和人監督 講演会」

女子レスリング五輪金メダリスト 吉田沙保里

至学館大学教授・日本オリンピック委員会ナショナルコーチ 栄 和人

(5) 市民公開講座

① 「認知症と共に幸せに生きるために

－本人を理解し家族を支えるのに役立つ知識－

鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科教授 葛原茂樹

② 「生活習慣病の治療により、心筋梗塞・脳卒中は予防できる」

菰野厚生病院長 小嶋正義

(6) 金井賞受賞講演

「障がい者雇用について－三厚連ウイズの取り組み－」

株式会社三厚連ウイズ代表取締役社長 伊藤雅彦

(7) シンポジウム

「地方から発信するこれからの医療」

(8) ワークショップ

① 「認知症と安全対策」

② 「感染対策ネットワークの現状と課題」

③ 「ベッドサイドにおける専門性を活かした患者サービス」

④ 「地域医療構想と病院経営マネジメント」

(9) 一般演題（口演・ポスター）

- (10) 臨床研修医セッション
- (11) ランチョンセミナー

2. 平成 28 年度 J A 共済連委託研究事業の実施

- (1) 転倒・骨折リスクに及ぼすサルコペニアの影響
主任研究者：矢野彰三(島根大学医学部臨床検査医学講座 准教授)
- (2) 農業従事が健康寿命に関連する因子に及ぼす影響
主任研究者：山崎雅之(島根大学医学部環境保健医学講座)
- (3) 院内感染対策における水痘抗原皮内反応の有用性の検討
主任研究者：内田 靖(中濃厚生病院成育診療部長)
- (4) 有効視野計測を用いた農機具の安全運転適性評価
主任研究者：立石清一郎(産業医学大学産業医実務研修センター講師)
- (5) 都市と農村における慢性副鼻腔炎の病態に関する研究
主任研究者：伊藤 卓(総合病院土浦協同病院耳鼻咽喉科科長)
- (6) HAL 単関節装着下での他動介助練習を併用した低頻度反復経頭蓋磁気刺激
(repetitive Transcranial Magnetic Stimulation) 治療プロトコルの確立
主任研究者：鈴木 聡(医療法人啓光会藍の都脳神経外科病院脳神経外科)

3. 特別研究プロジェクト事業の実施

「農薬中毒部会」、「農機具災害部会」、「農村の生活習慣病部会」、「農村の食と健康部会」において、データベースの充実など調査研究事業を引き続き実施する。

また、本学会の農機具災害部会と全国農業協同組合中央会(J A 全中)が中心となって、平成 22 年 5 月に設立した「全国農作業事故防止対策連絡協議会」の活動に対して、引き続き協力・支援するとともに、平成 28 年度農林水産省補助事業「農作業安全総合対策推進事業」に協力する。さらに、農機具災害部会が中心となって「第 8 回日韓共同『農作業安全シンポジウム』(平成 28 年 10 月 29 日、志摩市)を開催し、農作業安全対策等において韓国との交流を促進する。

4. 機関誌の発行

機関誌「日本農村医学会雑誌」の内容の充実と年 6 回の定期発行に努めるとともに、国際農村医学会雑誌と統合した英文誌(Journal of Rural Medicine)について、引き続き年 2 回の定期発行に努める。

5. ホームページの充実

対外広報活動の一環として、ホームページの内容充実および利用促進を図る。

6. 地方会との連絡連携の強化

日本農村医学会地方会との連携および組織の拡充強化を図る。

7. 関係学会ならびに関係研究機関との交流

各種学会ならびに関係機関との交流を促進する。

8. 国際農村医学会等との交流促進

国際農村医学会に対する支援を強化し、国際交流を促進する。
また、平成 30 年に日本で開催する第 20 回国際農村医学会学術総会に協力する。

9. 日本農村医学会賞の授与

本学会の研究において顕著な功績をあげた会員または本学会の発展に大きく貢献した会員に対し、日本農村医学会賞を授与する。

10. 日本農村医学会金井賞の授与

農村の保健・医療の向上に顕著な功績をあげた個人または団体に対し、金井賞を授与する。

11. 日本農村医学会研究奨励賞の授与

「日本農村医学会雑誌」および英文誌(Journal of Rural Medicine)に掲載した優秀な研究論文に対し、研究奨励賞を授与する。

12. 日本農業新聞賞に係る候補者(団体)の推薦

農村の保健・医療・福祉の向上に寄与する研究・活動を行った個人または団体を、日本農業新聞賞の候補として(株)日本農業新聞へ推薦する。

13. 農村医学に関する統計・資料の収集

農薬中毒、農機具災害、農村の生活習慣病および農村の食と健康に関する情報の収集・提供に努める。